



学び舎通信

school news

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

えずこホール イベント案内

—焼き、ひらき、出会う—
野点がつながり時間と場所。



陶芸家「きむらとしろうじんじん」による野点を、今秋10月に開催。それに先駆け、6月におさんぽ会を開催します。野点の会場となる場所をみんなまで歩いて探し、野点を一緒に参加・開催してみませんか？

白石・お散歩会 野点(本番)
6/13(土)・14(日) 10/6(土)

※おさんぽ会、野点、各参加費500円。
※すべての日程に参加できなくてもOKです。

えずこ男声合唱団 定期演奏会20th



6/14(日) 入場無料
13:30 開演 大ホール

※小さなお子さまもご入場できます。

合唱ワークショップ うたごえ喫茶



昭和の懐かしい名曲の数々を楽しく合唱しませんか？男性・女性どなたでもご参加いただけます！
(事前申込み不要)

6/27(土) 参加無料
10:00～11:40 平土間ホール

えずこひろば ～親子で楽しむ遊びの場所～



6/10(水)
10:00～12:00
会場:ホワイエ 参加:無料
(出入り自由/申し込みの必要はありません。)

えずこホール
仙南芸術文化センター
TEL 0224-52-3004
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1
URL: <http://www.ezuko.com/>
info@ezuko.com

「コの字型」の学びがつくる安心できる居場所へ
大河原南小学校では、今年度、学校教育目標を「主体的・対話的に学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」とし、子供たち一人一人が安心して学び合える学校づくりに取り組んでいます。その取組の1つとして、全学級で机を「コの字型」に配置し、友達の間を見ながら学習できる環境を整えています。互いの考えを伝え合ったり、分からないことを気軽に質問したりする場面が増え、子供たちからも「話す機会が増えた」「友達に聞けるようになった」という声が聞かれています。



「居場所」のある学校づくりに努めていきます。

大河原南小学校

金ヶ瀬小学校には1つの伝統があります。「ポプレンジャー」です。ポプレンジャーとは、金ヶ瀬小学校に代々伝わるヒーローです。今回はその紹介をします。金ヶ瀬小学校では児童会行事というものがありません。児童が主体となって企画・運営する行事です。例えば「1年生を迎える会」や「6年生を送る会」などです。しかし、児童会行事の開始直前に、いつも決まって子供たちの邪魔をする悪の一味が現れます。そんなとき、ポプレンジャーの登場です。いつも序盤は劣勢に立たされ、瀕死の状態になってしましますが、後半、全校児童一致団結の応援によって息を吹き返し、逆転勝利をもち取ります。ポプレンジャーの活躍を目の当たりにした全校児童の心が1つになります。そして会場のボルテージが最高潮になり、児童会行事は無事開催さ

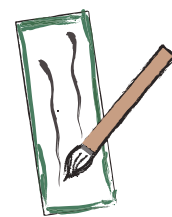


れるのです。今年の1年生を迎える会も、ポプレンジャーのおかげで大成功でした。ポプレンジャーはこれからも金ヶ瀬小学校の平和を守ってくれます。

金ヶ瀬小学校のヒーロー「ポプレンジャー」

金ヶ瀬小学校

わがまち文芸道場



思ひ人相次ぎ旅立ち残さるる吾に「にほひこぶし」の花落つ
ひとり居に肅々時が流れゆき歌を詠まむと心静めり
小成田 紀代子
佐々木 貴枝
ゴッホ絵の黄色に輝く「カフェテラス」夜空の星は青き彼方に
菅井 加寿子
リクライニング車椅子に乗る夫の笑顔の浮かぶ花がぶき舞ひて
加藤 倫子
千本の葉桜そよぐ青き道カール・ブッセの幸ひ想ひ
里山 みずき
玉ねぎのトウ立ち蕾大婦羅に夫は首振る意外なことに
高城 和子
「ちよいちよい」と我を呼びたる愛犬の愛くるしさに心癒やされ
小熊 松子
八十を越えたら好きなもの食みて穏やかに生くと老医師語る
菅野 美栄子
「地震だ」と玄関の戸を開け外に出るウグイスの声大丈夫だと
小原 千ハル
紅付きの吸い殻のあり校門に何やら哀し新入学かな
渡辺 光子
【大河原短歌会】

まちの本棚

～駅前図書館今月の新刊～

問合先 大河原町駅前図書館 TEL 0224-51-3330
開館時間 平日 10:00～19:00 FAX 0224-51-3331
土日祝 10:00～18:00

一般



『刑務所で当事者研究をやってみた』

向谷地 生良：編著
村上 靖彦：編著 【医学書院】

刑務所内で「最もかわりが難しい人」と言われていた「累犯障害者」Aさんで行った当事者研究の記録。トラウマを聞かない、反省を迫らない。では何が行われたのか。「ケア論の核心」を示す手がかりとなる書。

小説



『すべてが円くなるように』

原田 マハ：著 【幻冬舎】

展覧会を一目見ることができたら、フェルメールに捧げる物語を書くこと決め、作家の私はアムステルダムへ向かい…。真珠がつながり人生と夢を描く短編集。『小説幻冬』掲載を単行本化。

児童



『それからぼくはひとりで歩く』

アリシア・モリーナ：作 星野 由美：訳
犬吠 徒歩：絵 【ほるぷ出版】

ハイメは11歳の男の子。学校のクラスに視覚障害がある子は自分だけ。ある日、初めてひとりでバスに乗って帰ることに…。ハイメの「見えない」日常を共に感じる物語。テキストデータ引換券付き。

絵本



『さいあくないちにち』

サトシン：作 山村 浩二：絵 【実業之日本社】

ふんだ！わすれた！おこられた！朝から晩まで、ツイてない！もう、最悪！こんな1日ってあり!? 爆笑と共感で、モヤモヤを吹き飛ばす絵本。

